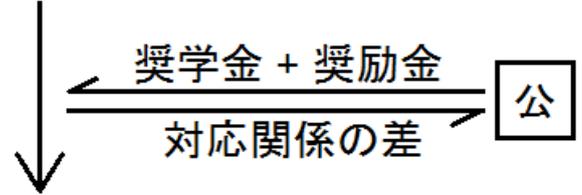
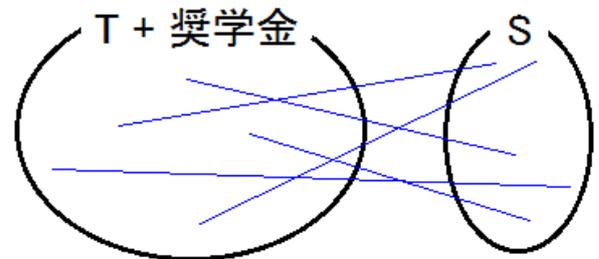
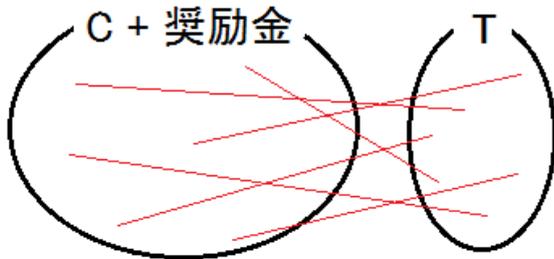


TはCを、SはTを自由に選ぶ。

第3者からの干渉が無い場合の対応関係 = TとSの私物



修正された対応関係 = 売却分だけ減少した私物 + 売却代金



Tは(C+奨励金)を、Sは(T+奨学金)を自由に選ぶ。

公が、(奨学金 + 奨励金)を払って、
修正前後の対応関係の差という公益を、購入する。